

在宅取組型（こども園）

学校名等	大垣市立赤坂幼保園	
実施日時	令和4年10月	令和4年12月
会場	各家庭	
参加人数	全園児、保護者	
学習課題(分野)	カボチャのお面で変身しよう!	「ありがとう」のハグ週間
運営者の願い	<p>親子で話題にして制作に取り組んでもらいやすいように季節に合った在宅課題を考えました。</p> <p>また、ありがとうを伝える機会を増やしたいという思いと、コロナ禍で触れ合いが減っていることを踏まえ、ありがとうのハグ週間を計画しました。</p>	

学習の内容

<取組内容>

カボチャのお面で作身しよう!

- ① 画用紙をじゃばら折りにし、角を切り落とす。
- ② 目や口に合わせ、はさみなどで切り抜きをする。
- ③ 耳にかけられるように輪ゴムをつけ、帽子などの装飾を糊付けして完成。

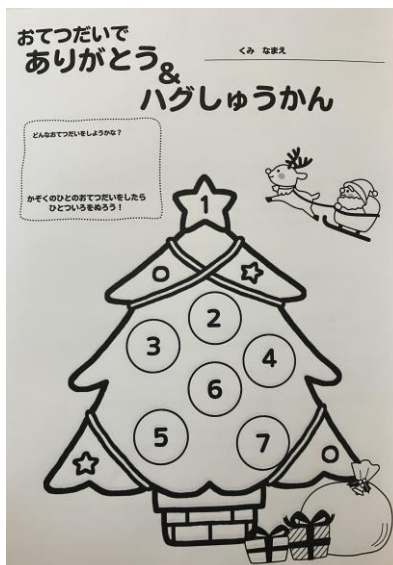
「ありがとう」のハグ週間

- ① 親子で取り組む課題を決める。(お手伝いの内容など)
- ② 課題を達成できたら保護者からありがとうの声かけとハグをする。
- ③ 声かけとハグができたらカレンダーに色を塗ったり、シールを貼ったりする。

< 実際の取組の様子と配布資料 >



↑ カボチャのお面作成の様子



『ありがとう』のハグ週間カレンダー→

<保護者の感想>

カボチャのお面で作身しよう!

- ・ カボチャのお面はちょうどハロウィンだったこともあり、子ども自身が自分から「作りたい!」と作業を始めていました。
- ・ 家族に見せて驚かせていて、作成過程だけでなく作った後も楽しめました。
- ・ 子どもも楽しんでいて、親子での貴重なコミュニケーションになりました。
- ・ 未満児の子どもは保護者が代わりに作業しましたが、親子で作成するのは楽しかったです。

「ありがとう」のハグ週間

- ・ 取組を通して、感謝の気持ちを伝えたり、触れ合ったりすることは大切なことだと感じました。
- ・ 最初は色塗りをしたい気持ちが先行しているようでしたが、自分で決めたお手伝いを率先してやってくれました。
- ・ コミュニケーションをこまめにとることができて、日ごろから心がけていきたいと思いました。



カボチャのお面

自分で作ることができる子だけでなく、はさみを使えない未満児の子は保護者が作成することにして、どの子どももお面をつけて楽しんでもらえるようにしました。



「ありがとう」のハグ週間

コロナ禍で大変なときでも、ありがとうという言葉や家族での触れ合いを通じ、家族の時間の大切さを再確認してもらうことができました。